

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和4年 3月 2日

公表: 令和4年 4月 1日

事業所名 スタディキッズエルコ東枝

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	6	0	・お子様に利用いただくスペースを配慮するなどして、蜜にならないように心がけている。	・同じ教材や画面共有する際の配置、教材の場合は時間をずらして行う等改善していきたい。
	2	6	0	・療育を行う職員、なるべく支援室でいつでもフォローできるように職員を配置している。	
	3	6	0	・各ブースの距離の適切な間隔をあけて支援を行っている。大きな段差もないが、十分気をつけている。	
	4	6	0	・日々の掃除の徹底や療育後の消毒等心がけている。	
業務改善	5	6	0	・会議や職員アンケート等自分の考えを周りの職員へ伝える機会がある。	
	6	5	1		・評価アンケートを配布し、回収している。今後はそれを基に業務改善につなげていきたい。
	7	6	0		
	8	/	/		
	9	5	1	・周りの職員の支援の仕方を見る機会や支援方法等話し合う場を設けています。	・研修会に参加して障害について学ぶ機会を増やしたい。
適切な支援の提供	10	6	0	・児発管だけでなく、職員含めて話し合いを行った上で、作成している。	
	11	5	1		・椅子に座って取り組むだけでなく、体感を使った支援も取り組んでいきたい。
	12	6	0	・支援内容について職員で話し合い、具体的にどうしていくかを話し合う機会を設けている。	・より具体的に記載していけるようにどうしていくかを考え改善していく。
	13	6	0	・支援計画を職員で周知していくことで、基礎からステップアップしていくように話し合っ実践する機会を設けている。	
	14	6	0		・各指導員で考えていく部分があるため、期間や順を決めて取り組んでいけるように改善していく。
	15	6	0	・療育内容を相談していけるように職員で話し合える場を設けている。	・固定火をしないようにしているが、つなげていく支援を考えていきたい。
	16	5	1		・集団療育等についても支援計画に取り入れるようにしていく。
	17	6	0	・毎日のミーティングでの確認や情報共有を行っている。	
	18	6	0	・気づいたこと等その都度共有するようにし、また、機械を意図的に設ける等、より意識を高めている。	
	19	6	0	・取り組んだ内容について項目ごとに様子を記載していくことに努めている。またそれを基に次の療育につなげている。	
20	6	0	・毎回の療育の担当をローテーションしていることで、各職員で利用児の意見交換や多様の方でのモニタリングを行っている。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	3		・今後、機会があれば連携していきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	1		・今後、機会があれば連携していきたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4		・契約の際に主治医やかかりつけの病院については教えてもらってはいる。	・今後、機会があれば連携していきたい。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2		・今後、機会があれば連携していきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	2		・今後、機会があれば連携していきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2		・今後、機会があれば連携していきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4		・コロナ等で地域交流等行えない状況のため、今後機会があれば、考慮していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	3		・今後、参加する機会があれば考えていく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・支援後のフィードバックやHUGへの記録を見ていただき情報を共有している。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1	・必要に応じて、保護者様も支援に入っていたり機会を持つことはしている。	・まだまだ頻度が少ないため、今後機会を増やしていきたいと思う。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	・事前しっかりと説明をしている。また、利用者負担についても保護者様に説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・連絡ツールを使い、保護者様の声を聞きやすいようにしている。 ・相談支援の時間を設けたりと必要に応じて対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4		・今後取り組んでいきたいと思っている。課題である。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	・相談支援がいつでも行えるようにしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	・連絡ツールを使い、保護者様へ施設の情報共有できるようにしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	・個人情報は、書庫に鍵をかけて保管している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2		・今後機会を作っていきたい。現状企画するもコロナ等で流れている。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	・連絡ツールにてお知らせしたり、支援室にマニュアルをおき、いつでも拝見出来るようにしています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・毎月の避難訓練を実施することで、災害時の対応について意識を高めている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0		・定期的に職員で周知する機会を場を設けていきたい。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0		・教室内で、飲食する場合を考えて、確認をしっかりとってきたい。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・些細なことでも気づいたら書き、職員で考えていくようにしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	・研修内容を職員に話していき、周知する機会を設けている。	・4月より、会議を行うようにする。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。